



2F 別世界の華やかなおもてなし



小さな路地の古民家



貴禄充分 美帆女将



1Fカウンター席

じょさんのお楽しみ日記90

「道後の粋とおもてなし」の巻

十一月六日道後温泉の路地に日本の伝統芸能、お座敷文化を体験できる「お茶屋」が誕生しました。名前は「華ひめ楼」といいます。

私達の若い頃は(添乗員時代)温泉旅館に宿泊する時はほとんどと言っていい程、芸妓さんと呼んで宴会をしていました。

三味の音そして太鼓に踊りとそれは賑やかなものでしたが時代と共にコンパニオン、カラオケ、へと自分達で楽しむ宴会へと変わってきました。

昔は道後温泉には三十数軒の検番と千名を超える芸妓さんがいたそうですからその華やかさが想像されます。

「華ひめ楼」は小さな路地の古民家で雰囲気は最高です。玄関を入ると一階にはカウンターと庭園があります。又正面には大きなモニターがあり、お座敷の様子や松山観光のビデオが放映されます。

お昼は旬替わりのお膳を楽しむことができますし、夜は「華ひめ楼御膳」を頂きながら愛媛の地酒を楽しむこともできます。その後はお座敷バーとして気軽に利用することも出来ます。そして階段を登るとお座敷があり華やかなおもてなしの非日常の夢の世界が堪能できます。

女将の田中美帆さんとは二十数年来のお付き合いがありますが明るく、楽しくそしてパワーと人柄抜群の方です。

今回は華ひめ楼のオープンには道後温泉の旅館のオーナーの皆さんと三つの検番の皆さんが一つになって道後を盛り立てることで

このお茶屋が愛媛の伝統芸能、お座敷文化の伝承することと道後の賑わいを創出し地域の魅力向上そして経済の活性化に貢献されんことを大いに期待したいと思います。



中村剛志